

### 学校教育目標

自ら学び考え  
主体的に行動する  
心豊かな生徒

### 目指す生徒像

胸をはり  
瞳輝く東中生

# 学校だより 瞳ひとみ輝かがや



第10号 令和4年12月23日 川越市立東中学校長 福田和子

## 「教育が一人前の社会人をつくる」家庭や地域の願いに応える 「守・破・離」の東中三カ年教育

### 2学期終業式のことば 一部抜粋

1年の世相を表す「今年の漢字」は、「戦」でした。世界では、戦争状態の国があることや記録的な円安、それに伴った急激な物価高や電力不足との「戦い」を日々の生活の中で体感しました。また、新型コロナウイルスとの「戦い」は、今もなお続いています。スポーツ界では、記憶に新しい「サッカーWカップ日本代表が繰り広げた「熱戦」や多くのスポーツ選手の活躍は、記録への「挑戦」としても注目を集めました。

「今年の漢字」にちなんで私から皆さんに来年の漢字を伝えます。「志」(し、こころざす)「心がある目的に向かって動くこと」「心のなかでこうしよう、ああしようと思う心の動きや心がある方向を目指すこと」を表します。また、「目的をはっきりと定め、その実現のために努力しようとする気持ち」や「失敗などしないように注意を集中させること」「気を配る心」を表します。生徒のみなさんの来年一年間が「志」の一文字を表す年となるよう今から準備を始めてください。

では、11月に実施した生徒アンケートについてお話します。このアンケートは、各教科の授業についてクラスや学年の傾向をつみ、各教科の指導の参考にしています。

学習面の1つ目は、「授業の内容について」です。全教科、全学年の平均では、授業の内容が「わかる、だいたいわかる」生徒が91.3%でした。ここで皆さんの注目すべき点は、自分の授業の取組を振り返る必要があることです。「だいたいわかる」と答えた教科では、わからない、疑問点が残っていることが考えられます。そういったところを質問したり、復習したりすることで解決することが必要です。大切なのは、「わからないこと」をそのままにしないことです。

学習面の2つ目は、「授業にまじめに取り組んでいる」「取り組んでいる」生徒は、3年98.6%、2年97.2%、1年96.7%となっています。学習面では多くの教科で学年が上がると「まじめに取り組んでいる」生徒が多くなっています。一人一人の意識の向上は、クラス全体の雰囲気をよくしていく効果があります。この数値から日頃の自分の授業に向かう姿勢や予習復習についてもう一度、考える機会としてください。

次に生徒アンケートの生活面の14項目の集計についてです。学年によって多少差がありますが、多くの項目で「そう思う」「ややそう思う」という回答が多くなっています。

学年ごとに見ると1年生は、「2 クラスに仲間はずれやいじめがないか」の項目にやや心配な点があります。2年生は、「3 先生とよく話すか」の項目が、他の項目よりも数値が低くなっています。3年生は、「4 相談できる先生がいるか」の項目が、少し低めになっています。また、1年生、2年生で共通して「12 毎日、時間を決めて家庭学習をしているか」「13 学校で配布されたプリントをその日のうちに保護者に渡しているか」の2項目に課題があります。今後、皆さん一人一人が2学期を振り返り、3学期や次の学年、その先の自分をイメージすることで課題の解決につなげていきましょう。

2学期終業式の最後に皆さんに伝えたいことは、「自分と向き合い成長につなげる」生徒であってほしい。「人との関わりを通して学ぶ」生徒であってほしいということです。

「自分と向き合う」とは、自分の気持ちに耳を傾けて、本心を知ることがをいいます。当たり前のことのようにですが、日常生活で人の意見に流されてしまったり、周りを気にしたり、気づかぬうちに自分の本当の気持ちを見ないフリをしていることは少なくありません。

また、「自分を大切にすること」と「人との関わりを通して学ぶ」ことをつなげて考えてください。「今、どうしたいか」という気持ちを大切にしたり、自分自身の意思や選択を信じたりすることは、人との関わりを学びながら自分を大切にすることにつながります。そして、人との関わりが「自分を大切にすること」だけでなく「他の人も大切にできる」ことにつながり、自分自身の成長となります。

明日からの冬休みは、家族と一緒に過ごす時間が増えます。よい機会ですから家族の一員としての自覚を高める機会としてください。

